

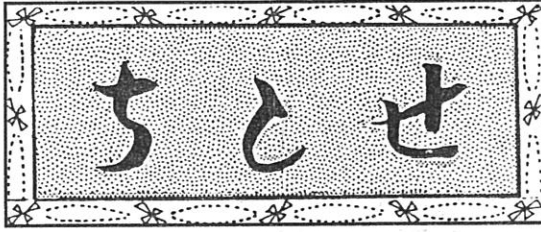
◆避難所シリーズ その5◆

わがまちの避難場所



災害は、自然に発生する災害（天災という）と人為的な災害に分けられます。前者は人間の力では防ぎようがありません。後者は、人間↓私たち自身が気をつければ起きません。『阪神淡路大地震』から3年が過ぎました。忘れられない忘れてはいけなほどの大きな災害、たくさんの教訓を残しました。改めて「備えあれば、憂いなし」ということばの持つ大きな意味を思い起こしてみたいと思います

発行：編集委員会  
編集：板橋 昇  
責任者：船橋出張所内  
事務局：(3482) 0341  
1998. 4. No. 54



◎ 自分の命は、自分で守る。  
◎ 隣同士、助け合って。  
この三項目は、いつの時代になっても大切なこと。普段からの備えを忘れずに行いたいのですね。  
**組織**  
設は、前号でお知らせしたように災害時の学校対応と同じように、一時集会所（近隣の住民等が一的に集合して様子を見る場所）と避難所（住家を持った人が一時的に生活する場所）になります。  
船橋出張所管内の避難場所の

ちとせ



講師 室 俊司 日本女子大学教授  
三宅 堅 船橋中学校校長  
山岸利雄 希望丘中PTA会長  
藤森喜子 希望丘中学校校長  
3月14日（土）、希望が丘集会所（エステート）で青少年船橋地区委員会主催の講演会が開かれ、4人の方からお話を聞いた。

今年で定年退職される藤森先生は最初に、単語の羅列でしか話さなくなっている今の子どもたちに、文化としての言葉を伝える必要はないこと。そのために母性や父性が、学校がそれぞれの立場からの、「場」としての条件設定が大切であると語った。

次に室先生は今こそ教育とは何かを問います。『教育ルネッサンス』と呼び掛ける。義務教育とは『義務』ではなく、子どもが喜んで集まり楽しく生き生きとじつくり取り組む9年間の普通教育であることを確認した後、教育基本法にある『人格の完成』に、さらに『人間性の開花』を加えて、子どもは子ども時

親・大人が変わらなければ子どもは変わらない  
(子どもの成長を阻むもの促すもの) 主催 青少年船橋地区委員会



学校教育活動再開について……避難所としての円滑な運営とともに、学校としての機能（学校教育活動）の再開にむけて①児童関係②授業関係③教職員と対策本部の対応が円滑にできるような組織・役割等を配慮することが望ましいと考えます。  
避難所（一時的な生活の場）と学校（教育活動の場）の共存が予想されますので、お互いの理解が大切です。

千歳台小学校  
校長 柴田 征雄  
一部である千歳台小学校では、災害時の対応の組織は左図を基本として検討されています。四月に開催されます「千歳台小学校学校協議会」で討議し決定されます。  
取材 塩野とみ子

代を完成させるのだと発題した。  
三宅先生も今年で定年退職される。ゆれながら自立していく中学生時代は、いろいろな問題も生じるが、それを悪い事とだけとらえるのではなく、大人が自立し自分の責任であることを自覚した上で、ゆとりをもって子どもたちを育むことを熱く語った。学校ではそれぞれの危機管理の意識の持ち方を信頼関係の中で行っているとも話した。  
最後に山岸会長は父親の立場で今の子どもたちの有様を『大人の都合で巻き込まれた子どもたちの反乱』だと言う。自らの青年期を語り『天のリズム』を感じて流れていった30年前の時とは、こま切れに分断されてしまった今という時間とは異なる、大切な物を忘れてしまったのではないかと問い掛け、かつて家族の『死』によって生きる事を考えていった少年時代の話は、会場の感動を呼んだ。  
取材 佐藤三智子  
福田みどり

このたび、船橋出張所に異動してきました。  
子どもの頃より小田急沿線（世田谷代田）に住んでいるので、沿線地域には親しみを感じていました。小学生の頃（昭和20年代）、船橋や廻沢にはクヌギ林が点在し、クワガタ採集へ行った記憶があります。今は都市化が進み、その面影すらないほど発展しています。どちらがよいかわ別にして、地域住民の住みよいまちづくりの為に頑張りますので、よろしくお願ひいたします。  
所長 名取典男

前所長のごあいさつ  
新井前所長からバトンタッチをうけ、満4年在籍いたしました。  
これまでのご協力に對しまして、厚くお礼を申し上げます。  
特に町会自治会や日赤奉仕団・民生委員会や社協分会の皆様には大変教えられることも多く、思い出の深い時期となりました。  
また身近なまちづくり推進協議会や青少年地区委員会の皆様には、コミュニケーションやネットワークづくりが青少年から高齢者まで、いかに大事であるかについて学ぶこともできました。  
至らない事項もたくさんありましたが、そのことは後任所長にお願いして退任にあたりお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。  
佐藤卓雄

新入職員のごあいさつ  
はじめまして。このたび、烏山区民センター管理事務所より異動してまいりました小林美恵子です。船橋地域のことはあまり知りませんが、地元のことなどいろいろ教えてください。よろしくお願ひいたします。  
職員 小林美恵子

歳末たすけあい運動の結果報告

平成9年度の歳末たすけあい運動(募金等)の結果は、昨年度を上回る2,216,700円になりました。ご協力をいただきました皆様には厚く御礼を申し上げます。

また募金活動をしてくださいました民生児童委員、日赤奉仕団、そして町会自治会の皆様ありがとうございました。

皆様から寄せられました金額は、砧地区社会福祉協議会において、ねたきり高齢者や重度障害者(児)の介護者見舞いや生活要保護世帯の見舞いなどに配分されました。

日赤奉仕団の活動にご理解を

赤十字の組織は、19世紀ヨーロッパで一番悲惨な戦いであったイタリアとオーストリアの統一のための戦争で、戦場に居合わせたスイスの若い実業家アンリー・デュナンが何十万もの兵士が傷つき死んでいく姿を目にし「こんな事があってはならない。たとえ兵士であっても武器を捨て、敵も味方もなくお互い助け合える国際機関をつくれぬものか」との願いが実って誕生しました。

21世紀を迎えようとしている今日でも戦争や紛争による犠牲者そして地震などによる自然災害は絶えることがありません。

国内においても、災害救護や血液事業など日本赤十字社の果たす役割は多くあります。

わたしたちも日赤船橋出張所分団では微力ですが、少しでもお役にたてればとの願いから奉仕活動をしています。

また、5月は日赤活動の源となります社資募集(募金)があります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

取材 宇田川えん 橋爪やす子

おねがい!!

公共施設を利用する時は、利用時間、使用後の片付け等マナーを守りましょう。

いつまでもみんなで気持ちよく利用しましょう。



イトライナー

環状8号線の地下に鉄道を走らせる構想です。大田区・世田谷区・杉並区・練馬区・板橋区・北区の6区で構想の基本計画を立て、署名運動などを展開し実現にむけて、都に働きかけています。

署名運動にご協力ありがとうございました。

地域めぐり

こんなところ、ごぞんじですか?

[1] 桜丘区民センター

桜丘5-14-1 TEL 3499-0541

体育室、会議室、和室、音楽室、大広間等あり、個人、団体共に使用できます。児童館、図書館、住民票や印鑑証明等がとれる区民連絡所も同建物内にあります。

いろいろな事がこのセンター内でできるので大変便利と利用者のご意見がありました。空缶、紙パックの回収ボックスも設置されています。

[2] 桜丘集会所

桜丘2-2201 TEL 5577-1131

ピアノ、音響機器、舞台のある集会所と会議室がありますが、団体使用のみです。(けやきネット)

[3] 砧リサイクルセンター

千歳台1-1-5 TEL 5490-1020

自転車、家具、電気製品等きれいになったリサイクル品が多数展示されます。一人2点まで申込ができ、毎月一回月末に抽選が行われます。申込も含め無料です。

[4] 船橋地区会館

船橋3-11-8

問い合わせ先 3482-2001 個人・団体の利用ができます。個人利用の時は夕方5時まで。

公園があるので小さな子ども連れでも便利で〜。近所の老人の方の集まり場にもなっています。

[5] 船橋児童館

船橋5-17-28 TEL 3303-1876

[6] 希望丘区民集会所 (エステート)

船橋7-8-4

問い合わせ先 3482-2001 ピアノ、音響機器、鏡もあります。

団体使用のみです。(けやきネット)

希望丘まちかど図書室 TEL 3484-4261

希望丘区民集会所の隣にあります。

取材 石井 弘子 長島千鶴子 浜中 峰子

「けやきネット」ってなあ〜に

世田谷区の公共施設を団体で利用される時に必要となります。申し込みをして団体登録をします。カードが発行されると利用が可能になります。利用する時はプッシュホンの電話で施設利用の予約ができます。詳しくは出張所へどうぞ。

編集後記

このところ少年達の暗いニュースが続いた。でも桜は寒暖の差のはげしい中を、待っていたかの様にほころび、そして一挙に咲きほころびた。清らかな花の下、改めて生きている喜びを確かめていきたい。 萩原和恵

